

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 現代文演習

教科：国語 科目：現代文演習 単位数：2 単位
 対象学年組：第 3 学年 選択クラス

教科担当者：

使用教科書：（三省堂 精選『論理国語』）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】文学作品や評論等の読解を通して先人のものの見方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代文演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力、深い共感力や豊かな想像力を伸ばし、近現代の文章を通して日本または異文化のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、まとまりのある文章に接することで、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書 読					
1 学 期	小説、評論の読解 【知識及び技能】 ・小説、評論に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・小説や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、それぞれの文章に特有な表現に注意して内容を的確に捉える。 ・作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。	・問題集を用いた読解（『現代文 長文記述問題集2 読解力養成編』いづな書店） ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 ・文章に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・小説を読むために必要な感情を表す言葉のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、その文章特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとしている。				12
	定期考査								1
	小説、評論の読解 【知識及び技能】 ・小説、評論に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・小説や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、それぞれの文章に特有な表現に注意して内容を的確に捉える。 ・作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。	・問題集を用いた読解（『現代文 長文記述問題集2 読解力養成編』いづな書店） ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 ・文章に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・小説を読むために必要な感情を表す言葉のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、その文章特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとしている。				14
定期考査								1	
	小説、評論の読解 【知識及び技能】 ・小説、評論に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・小説や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、それぞれの文章に特有な表現に注意して内容を的確に捉える。 ・作品や文章を多面的多角な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。	・問題集を用いた読解（『現代文 長文記述問題集2 読解力養成編』いづな書店） ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 ・文章に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・小説を読むために必要な感情を表す言葉のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、その文章特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・文学と現実とのつながりを理解しようとしている。				14

2 学 期	『源氏物語』の読解 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を多面的多角敵な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとする。	・「紫の上の死」(『源氏物語』) ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・古典の作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとしている。				14
	定期考査								1
	大学入試問題演習 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を多面的多角敵な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとする。	・大学入試問題演習 ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・古典の作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとしている。				14
定期考査								1	
3 学 期	大学入試問題演習 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章を多面的多角敵な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとする。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとする。	・大学入試問題演習 ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・古典の作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代とのつながりを理解しようとしている。				12
	合計							70	

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 地理歴史科 科目 地理総合

教科： 地理歴史科 科目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： (『高等学校 地理総合－世界を学び、地域をつくる』(第一学習社)、新詳高等地図(帝国書院))

教科 地理歴史科 の目標：

- 【知識及び技能】 ・現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。
- ・地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【思考力、判断力、表現力等】 ・地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
- 【学びに向かう力、人間性等】

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付ける。	地理に関わる諸事象について、位置や分布、人間と自然環境との相互関係、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題を発見し、解決策を考察・構想し、それらを説明したり議論したりする力を身に付ける。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現のために、主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、それらを通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する姿勢を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>○地球上の世界と地図</p> <p>【知識及び技能】 地図の読み取り、使い方などの知識を身に付けることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地球上の諸事象に対して、デジタル地図上に表現することができる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地球上の諸事象に対して関心を高めることができる。</p>	<p>・指導事項 地形図の使い方、デジタル地図の使い方の講義・演習</p> <p>・教材 教科書、地形図、資料集、地図帳</p> <p>・一人1台端末の活用 等 teamsの活用、デジタル地図の閲覧、編集</p>	<p>・歴史上の地図について学び、地図の有用性に気づくとともに、地図がどのような目的で作られているか、どのような工夫がされているかを理解する。</p> <p>・新聞広告や図書館の資料、インターネット検索などを用いて、身の回りの地図の活用事例について調べることができる。</p> <p>・地球上の位置をあらわすために緯度・経度が定められたことと、地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解し、時差の計算に積極的に取り組むことで、日本の標準時における諸外国の時間と生活のようすを想像することができる。</p> <p>・メルカトル図法、正積図法、正距方位図法の特徴と欠点を、知識として身につけるとともに、地球儀と世界地図を用いて、球面を平面に表現する際の特徴と問題点を、考えることができる。</p> <p>・地理学習の基本的な技能として、地図の縮尺や方位に注意しながら、地図上の情報を読み解くことができる。</p> <p>・Web地図にアクセスし、日常的に使われるGNSSやGISなど、新しい地図表現の役割を理解する。</p>	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
<p>○国家の結びつきとグローバル化する社会</p> <p>【知識及び技能】 国家や国家同士の結びつきについて理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 国家同士の結びつきについて、メリットやデメリットなどを考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化する世界において、自分の生活とさまざまな事象が結びついていることについて、関心を高めることができる。</p>	<p>・指導事項 国家同士の結びつき等についての講義・演習</p> <p>・教材 教科書、資料集、地図帳</p> <p>・一人1台端末の活用 等 teamsの活用、インターネットによる検索</p>	<p>・現代世界を構成する基本単位の国家とは何かを理解し、交通・通信の発達によって、生活、社会、産業、国家間の関係がどのように変化したか理解する。</p> <p>・現在世界で起きている国境・領土問題について調べるとともに、日本の領域と周辺国との領土問題にはどのようなものが存在するか、理解する。</p> <p>・グローバル化の中で、人・「もの」・資本の国際間移動の複雑化や、国家的結びつきの変化に気づき、国家が自国の利益などのために結んでいる国際機関の変遷を学習する。</p> <p>・交通・情報・通信手段の発達がどのように地域を結びつけ、変化させているかを地図から考えることができる。</p> <p>・インターネットショッピングを事例に、情報技術や物流、金融など、さまざまなサービスと実生活とのかわりについて、実体験をもとに考える。</p> <p>・貿易の拡大に伴い専用船の開発・普及が進み、ワールドチェーンの整備によりどのように生活が豊かになっているか理解する。</p>	○	○	○	14
定期考査			○	○		1

向丘 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 地理歴史 科目 世界史演習

教科: 地理歴史 科目: 世界史演習 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 選択クラス

使用教科書: (山川出版社『詳説世界史』)

教科 地理歴史 の目標:

- 【知識及び技能】 地域的特色と日本及び世界の歴史について理解するとともに、調査や諸資料からまとめる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味・意義・概念などを活用し多角的に考察し効果的に説明したり議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に解決しようとする態度を養い、我が国への愛情、他国文化の尊重に対する自覚を深める。

科目 世界史演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。 ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代などの関連や現代世界とのつながりなどに着目して多角的に考察できる。	・世界の歴史の展開に関わる出来事について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準			配当 時数	
			知	思	態		
1 学期	第一次世界大戦と世界の変容 【知識及び技能】 ・第一次世界大戦の概要やアジア・アフリカの各地に与えた影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・第一次世界大戦前後の世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	指導事項 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア、アフリカ地域の民族運動 教材 ・教科書 プリント 副教材	【知識・技能】 ・バルカン半島で緊張が高まった背景、歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因を理解する。 ・戦時外交および総力戦の特徴を理解する。 ・第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響と第一次世界大戦による西アジアの政治地図の変化を理解する。 【思考・判断・表現】 ・塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料集内や授業で提示される映像資料や写真資料に関心をもって触れることができる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	第二次世界大戦と新たな国際秩序の形成 【知識及び技能】 ・世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファンズム諸国・日本の動きについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本と中国が全面戦争へいたった背景、独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・第二次世界大戦前後の国際秩序について、興味・関心や疑問をもつ。	指導事項 ・世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 ・第二次世界大戦 ・新しい国際秩序の形成 教材 ・教科書 プリント 副教材	【知識・技能】 ・世界恐慌からの国際関係や、第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解している。 ・第二次世界大戦後に形成された国際秩序の特徴を、それ以前との相違点をふまえて理解している。 【思考・判断・表現】 ・戦場を写した図像資料や「大西洋憲章」などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察できる。 ・第一次世界大戦と比較し、第二次世界大戦の特徴を考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業内で提示されたテーマについて自分なりに考え、発言することができる。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	

2 学期	<p>冷戦と第三世界の台頭</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争の経緯、冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響を理解する。 ・国際情勢との関係をふまえたうえで、米ソ代理戦争としてのベトナム戦争の性格を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スターリン死後のソ連と東欧における変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ・キューバ革命の背景および影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・1960年代におけるアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの変容を多面的・多角的に考察し表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の展開 ・第三世界の台頭とキューバ危機 ・冷戦体制の動揺 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 プリント 副教材 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の展開、冷戦のもとで第三世界の台頭がどのように進んだのかや、キューバ危機を経て国際社会が核兵器の制限にどのように取り組んだのかを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進国の平均経済成長率を示した統計資料や「スターリン批判」などの資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことをもとに、冷戦期の世界について課題を設け探究することができる。 	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学期	<p>冷戦の終結と今日の世界</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1960～1980年代の各国の経済や社会の状況を、経済構造の変化をふまえて理解する。 ・冷戦がどのような過程をたどって終結したのかや冷戦後の状況について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在起こっている事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の世界で起こっている事象とこれまでの学習とのつながりに関心を持ち、主体的に探究する姿勢を養う。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業構造の変容 ・冷戦の終結 ・今日の世界 ・現代文明の諸相 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 プリント 副教材 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦がどのように終結したのかや、冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地の状況を写した画像資料などをもとに、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を表現できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。 	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学期	<p>近代・近現代の振り返り</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>近代から近現代の世界の政治・社会・経済・文化を国際社会との関係から理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>近代から近現代の世界の政治・社会・経済・文化を国際社会との関係から多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>近代から近現代の世界の政治・社会・経済・文化を国際社会との関係から自ら課題を設定し、主体的に追究する。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代・近現代の振り返り <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 プリント 副教材 	<p>【知識・技能】</p> <p>近代から近現代の世界の政治・社会・経済・文化を国際社会との関係から基本事項を理解している</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>近代から近現代の世界の政治・社会・経済・文化を国際社会との関係から多面的・多角的に考察し、表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>近代から近現代の世界の政治・社会・経済・文化を国際社会との関係から自ら課題を設定し、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
合計							70

向丘 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 地理歴史 科目 世界史探究演習

教科 地理歴史 科目 世界史探究演習 単位数: 4 単位

対象学年組: 第 3 学年 選択クラス

使用教科書: (山川出版社『詳説世界史』)

教科 地理歴史 の目標:

- 【知識及び技能】地域的特色と日本及び世界の歴史について理解するとともに、調査や諸資料からまとめる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味・意義・概念などを活用し多角的に考察し効果的に説明したり議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】課題を主体的に解決しようとする態度を養い、我が国への愛情、他国文化の尊重に対する自覚を深める。

科目 世界史探究演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。 ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代などの関連や現代世界とのつながりなどに着目して多角的に考察できる。	・世界の歴史の展開に関わる出来事について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	大交易・大交流の時代 アジアの諸帝国の繁栄 【知識及び技能】 ・モンゴル帝国解体後のアジア各地の状況について理解する。 ・ヨーロッパの人々の進出がアジアにもたらした影響や変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ヨーロッパの人々が遠洋に乗り出していった動機や背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ・世界的な商業の発展が明の朝貢体制におよぼした影響を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 16世紀に一体化が始まった「世界」の性格を多面的・多角的に考察しようとしている。	指導事項 ・アジア交易世界の興隆 ・ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 ・オスマン帝国とサファヴィー朝 ・ムガル帝国の興隆 ・清代の中国と隣接諸地域 教材 ・教科書 プリント 副教材	【知識・技能】 ・「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおいて、どのような動きがあったのかを理解している。 ・ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ヨーロッパ人による航海と探検を示す地図やラス・カサス『インディアスの破壊についての簡潔な報告』などの資料をもとに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習した内容をもとに、課題を設け探究できる。	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
	近世ヨーロッパ世界の動向 【知識及び技能】 ・ルネサンスの担い手や彼らの動機、ルネサンスの影響について理解する。 ・主権国家体制や啓蒙思想について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・これまでの教会改革の試みと16世紀の宗教改革の違いを多面的・多角的に考察し表現する。 ・科学革命がヨーロッパ人に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近世ヨーロッパ世界の動向について関心を高める。	指導事項 ・ルネサンス ・宗教改革 ・主権国家体制の成立 ・オランダ、イギリス、フランスの台頭 ・北欧、東欧の動向 ・科学革命と啓蒙思想 教材 ・教科書 プリント 副教材	【知識・技能】 ・ルター、カルヴァンの教えの特徴やイギリス国教会の成立の意義を理解している。 ・16世紀後半のスペイン・イギリス・フランスの関係を理解している。 ・主権国家体制とプロイセンとオーストリアの関係の推移を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ルネサンスを支えた精神の特徴を理解し、それが後世に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ルネサンスのさまざまな作品を調べ、積極的に鑑賞しようとする。	○	○	○	28
定期考査			○	○		1	

2 学期	産業革命と環大西洋革命 【知識及び技能】 ・イギリスで産業革命がはじまった経緯や技術革新の展開を理解する。 ・北米大陸に建設されたヨーロッパ諸国の植民地の地理的分布とその推移を理解する。 ・革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	指導事項 ・産業革命 ・アメリカ合衆国の独立と発展 ・フランス革命とナポレオンの支配 ・中南米諸国の独立 教材 ・教科書 プリント 副教材	【知識・技能】 ・16世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係について理解している。 ・フランス革命の変遷と外国への影響を理解している。 【思考・判断・表現】 ・独立直後と今日のアメリカ合衆国を比較し、共通点と相違点を理解する。 ・人権宣言とアメリカ独立宣言を比較し、共通点と相違点を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業内で提示されたテーマについて、考え、発言することができる。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
2 学期	イギリスの優位と欧米国民国家の形成 【知識及び技能】 ・ウィーン会議の参加者たちがどのような国際秩序をめざしていたかを理解する。 ・1848年革命の展開と影響について理解する。 ・クリミア戦争における各国の立場と19世紀後半におけるロシア・イギリス・フランスの諸改革の相違点を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・19世紀イギリスの政治変革の特徴について、大陸諸国と比較したうえで理解する。 ・ドイツとイタリアの国民国家成立を比較し、共通点と相違点を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・19世紀の政治や文化について、関心を高める。	指導事項 ・ウィーン体制とヨーロッパの政治 ・列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 ・アメリカ合衆国の発展 ・19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 教材 ・教科書 プリント 副教材	【知識・技能】 ・ウィーン会議がめざした国際秩序と、動揺した要因を理解している。 ・南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。 【思考・判断・表現】 ・1848年革命の展開と影響について、ヨーロッパ内の地域差に着目して多面的・多角的に考察できる。 ・ドイツ帝国におけるビスマルクの諸政策の動機を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・19世紀の政治や文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
3 学期	アジア諸地域の動揺 【知識及び技能】 ・西アジアの改革とヨーロッパ各国による南アジア、東南アジアの植民地化の経緯を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ロシアとイギリスの競合関係が西アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・東アジアの激動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとする。	指導事項 ・西アジア地域の変容 ・南アジア、東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動 教材 ・教科書 プリント 副教材	【知識・技能】 ・オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。 【思考・判断・表現】 ・東南アジアの植民地化の地図やゴムのプランテーションを示した図像資料をもとに、ヨーロッパ各国の進出の経緯をふまえ、南アジアと東南アジアにおける植民地化と世界経済の関係を多面的・多角的に考察し表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地図や資料を用いながら、アジアの変化について調べ、まとめようとする。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
							合計
							140

向丘 高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 地理歴史 科目 日本史演習

教科: 地理歴史 科目: 日本史演習 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 組 ~ 組

使用教科書: (『詳説日本史』山川出版社)

教科 地理歴史 の目標:

【知識及び技能】地域的特色と日本及び世界の歴史について理解するとともに、調査や諸資料からまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味・意義・概念などを活用し多角的に考察し効果的に説明したり議論したりする力を養う

【学びに向かう力、人間性等】課題を主体的に解決しようとする態度を養い、我が国への愛情、他国文化の尊重に対する自覚を深める。

科目 日本史演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の展開に関わる諸事情に関して地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的に理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の展開に関わる事象の意義などを多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の展開に関わる諸事象についてより良い社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して自国及び他国やその文化を尊重する自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 近代国家の展開 【知識及び技能】 第一次世界大戦前からワシントン体制に至る政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関係や政党内閣の成立などと関連させて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 民主主義的風潮による社会運動の動向、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義を主体的に追究する。	・指導事項 大正政変 第一次世界大戦 ワシントン体制 社会運動 普通選挙運動と護憲三派内閣 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目し、大戦後の国際的な日本の立場や対外政策の変化についての基本事項を理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦前後の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	B 単元 近代の産業と生活 【知識及び技能】 日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近代産業の発展にともなう社会問題(労働問題・公害問題)の発生と政府の対応について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や市民生活の変化を踏まえて、大衆文化の特色について主体的に追究する。	・指導事項 近代産業の発展 近代文化の発達 市民生活の変容と大衆文化 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 産業の発達の背景と影響などに着目し、産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 【思考・判断・表現】 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 マスメディアや出版の発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題について、自ら主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	C 単元 恐慌と第二次世界大戦 【知識及び技能】 恐慌による国内経済の動揺と軍部の政治的進出、太平洋戦争に至る過程について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 軍部の政治的進出に着目し、政党内閣の崩壊、国際的孤立に至る過程を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争の悲惨さに着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。	・指導事項 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目し、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係、戦時体制の強化、第二次世界大戦の展開について理解している。 【思考・判断・表現】 対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	

2 学 期	D 単元 占領下の日本 【知識及び技能】 占領政策および戦後の民主化政策とそれにもなう諸改革について、その経過と内容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結して日本が独立した意義を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 連合国による日本占領の終結と、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から主体的に追究する。	・指導事項 占領と改革 冷戦の開始と講和 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 占領政策と諸改革、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。 【思考・判断・表現】 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の日本との関係性を踏まえ、占領期における諸改革や連合国による日本占領機構の特色から戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究しようとしている。	○	○	○	10	
	E 単元 高度成長の時代 【知識及び技能】 独立後の日本の政治・経済について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の国際社会復帰、経済成長による社会問題について主体的に追究する。	・指導事項 55年体制 経済復興から高度経済成長へ ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	10	
	定期考査			○	○		1	
	F 単元 激動する世界と日本 【知識及び技能】 ドル＝ショックや石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 高度成長が終焉し、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて主体的に追究する。	・指導事項 経済大国への道 冷戦の終結と日本社会の変容 ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 【思考・判断・表現】 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦後、冷戦終結後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10	
定期考査			○	○		1		
3 学 期	G 単元 近代・近現代の振り返り 【知識及び技能】 近代から近現代の日本の政治・社会・経済・文化を国際社会との関係から理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近代から近現代の日本の政治・社会・経済・文化を国際社会との関係から多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 近代から近現代の日本の政治・社会・経済・文化を国際社会との関係から自ら課題を設定し、主体的に追究する。	・指導事項 近代・近現代の振り返り ・教材 教科書・副教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 近代から近現代の日本の政治・社会・経済・文化を国際社会との関係から基本事項を理解している 【思考・判断・表現】 近代から近現代の日本の政治・社会・経済・文化を国際社会との関係から多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代から近現代の日本の政治・社会・経済・文化を国際社会との関係から自ら課題を設定し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10	
	定期考査			○	○		1	
							合計	
								70

向丘 高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 地理歴史 科目 日本史探究演習

教科: 地理歴史 科目: 日本史探究演習 単位数: 4 単位

対象学年組: 第 3 学年 組 ~ 組

使用教科書: (『詳説日本史』山川出版社)

教科 地理歴史 の目標:

【知識及び技能】 地域的特色と日本及び世界の歴史について理解するとともに、調査や諸資料からまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味・意義・概念などを活用し多角的に考察し効果的に説明したり議論したりする力を養う

【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に解決しようとする態度を養い、我が国への愛情、他国文化の尊重に対する自覚を深める。

科目 日本史探究演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の展開に関わる諸事情に関して地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的に理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の展開に関わる事象の意義などを多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の展開に関わる諸事象についてより良い社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して自国及び他国やその文化を尊重する自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 近世の幕開け 【知識及び技能】 アジアやヨーロッパとの交流、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 織豊政権の諸政策や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 時代の転換に着目して、中世から近世の社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現できる。	・指導事項 大航海時代 織豊政権 桃山文化 ・教材 教科書・副教材・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 織豊政権の特色や貿易・対外関係についての基本事項を理解している。 【思考・判断・表現】 織豊政権の諸政策や対外関係について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中世から近世の社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。	○	○	○	8
	B 単元 幕藩体制の成立と展開 【知識及び技能】 江戸幕府の幕藩体制の成立期から安定期にかけての政治や社会について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幕藩体制安定期までの統治政策や当時の社会、経済について、多面的・多角的に考察し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 幕藩体制安定期までの様々な画期について考察し、主体的に追究できる。	・指導事項 幕藩体制の成立、構造、安定 経済の発展 寛永期の文化 元禄文化 ・教材 教科書・副教材・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 江戸幕府の幕藩体制の成立期から安定期にかけての基本事項を理解している。 【思考・判断・表現】 幕藩体制成立期から安定期までの統治政策や当時の社会、経済について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 幕藩体制成立期から安定期までの様々な画期について考察し、主体的に追究している。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	C 単元 幕藩体制の動揺 【知識及び技能】 幕府や諸藩が行った諸改革と、列強の接近、雄藩の出現する過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幕藩体制が動揺する過程、国際情勢の変化と影響などに着目して、幕府政治の動揺と諸藩の動向について多面的・多角的に考察し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、外交政策の転換など幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究できる。	・指導事項 幕政の改革 宝暦・天明期の文化 幕府の衰退と近代化への道 化政文化 ・教材 教科書・副教材・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 幕府や諸藩が行った諸改革と、列強の接近、雄藩の出現する過程についての基本事項を理解している。 【思考・判断・表現】 幕藩体制が動揺する過程、国際情勢の変化と影響などに着目して、幕府政治の動揺と諸藩の動向について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、外交政策の転換など幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究している。	○	○	○	14

	<p>D 単元 近世から近代へ</p> <p>【知識及び技能】 江戸幕府の威信低下から幕府の滅亡、旧幕府勢力の一掃までの過程を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 国際社会の変化に着目し、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて多面的・多角的に考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを見出し、主体的に追究できる。</p>	<p>・指導事項 開国と幕末の動乱 幕府の滅亡と新政府の発足 ・教材 教科書・副教材・プリント ト ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 江戸幕府の威信低下から幕府の滅亡、旧幕府勢力の一掃までの過程の基本事項を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 国際社会の変化に着目し、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを見出し、主体的に追究している。</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	<p>E 単元 近代国家の成立</p> <p>【知識及び技能】 明治新政府の政治制度や自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る過程を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 明治新政府の政治的改革と国家的統一の過程を多面的・多角的に考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 立憲国家の成立に至る過程を考察したうえで日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究できる。</p>	<p>・指導事項 明治維新と富国強兵 立憲国家の成立 ・教材 教科書・副教材・プリント ト ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 明治新政府の政治制度や自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る過程の基本事項を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 明治新政府の政治的改革と国家的統一の過程を多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 立憲国家の成立に至る過程を考察したうえで日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究している。</p>	○	○	○	15
	<p>F 単元 近代国家の展開</p> <p>【知識及び技能】 日清・日露戦争、第一次世界大戦前後の過程を国際社会と日本の関係を踏まえて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 開戦に至る国際関係や、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出す。</p>	<p>・指導事項 日清・日露戦争と国際関係 第一次世界大戦と日本 ・教材 教科書・副教材・プリント ト ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 日清・日露戦争、第一次世界大戦前後の過程を国際社会と日本の関係を踏まえ、基本事項を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 開戦に至る国際関係や、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出している。</p>	○	○	○	15
2 学 期	定期考査			○	○		1
	<p>G 単元 近代の産業と生活</p> <p>【知識及び技能】 日本の産業革命から大衆社会の基盤の成立の過程について政治・経済・文化などの点から理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 近代産業・文化の発展について政治・経済・外交などの視点から多面的・多角的に考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 近代産業の発展とそれによる社会問題の対応について課題を見出し主体的に追究できる。</p>	<p>・指導事項 近代産業の発展 近代文化の発達 市民生活の変容と大衆文化 ・教材 教科書・副教材・プリント ト ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 日本の産業革命から大衆社会の基盤の成立の過程について政治・経済・文化などの基本事項を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 近代産業・文化の発展について政治・経済・外交などの視点から多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 近代産業の発展とそれによる社会問題の対応について課題を見出し主体的に追究している。</p>	○	○	○	14

	<p>H 単元 恐慌と第二次世界大戦</p> <p>【知識及び技能】 恐慌による国内経済の動揺、軍部の政治的進出から第二次世界大戦後までの過程について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 恐慌から脱し、軍部の影響力が増していくなかで太平洋戦争へと突入していくこと過程を考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目し、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。</p>	<p>・指導事項 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦</p> <p>・教材 教科書・副教材・プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 恐慌による国内経済の動揺、軍部の政治的進出から第二次世界大戦後までの過程についての基本事項を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 恐慌から脱し、軍部の影響力が増していくなかで太平洋戦争へと突入していくこと過程を考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目し、平和で民主的な国際社会の実現にむけての課題を見出し主体的に追究している。</p>	○	○	○	14	
	定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>I 単元 原始から近世の振り返り</p> <p>【知識及び技能】 原始から近世の日本の政治・社会・経済・文化などを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 原始から近世の日本の政治・社会・経済・文化などを多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 原始から近世の日本の政治・社会・経済・文化などに自ら課題を設定し、主体的に追究する。</p>	<p>・指導事項 原始・古代の振り返り 中世の振り返り 近世の振り返り</p> <p>・教材 教科書・副教材・プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 原始から近世の日本の政治・社会・経済・文化などの基本事項を理解している</p> <p>【思考・判断・表現】 原始から近世の日本の政治・社会・経済・文化などを多面的・多角的に考察し、表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 原始から近世の日本の政治・社会・経済・文化などについて多面的・多角的な視点から自ら課題を設定し、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	24	
	定期考査			○	○		1	
							合計	
								140

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 公民科 科目 政治経済

教科：公民科 科目：政治経済 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～7組

使用教科書：（清水書院 高等学校 現代政治・経済 新訂版）

教科 公民科 の目標：

- 【知識及び技能】・現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論を理解させる。
・資料から社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。
- 【思考力、判断力、表現力等】・現実社会の複雑な課題を把握し、説明するとともに、構想する力、議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】・現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 政治経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代日本における政治・経済の諸課題およびグローバル化する国際社会の諸課題について、基礎的・基本的な知識を身につけ、理解を深めている。 ・諸資料から課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。	現代日本における政治・経済の諸課題およびグローバル化する国際社会の諸課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現できている。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・法は社会規範の一つであり、国家による強制を伴う点で道徳や慣習とは異なることを理解する。 ・法は個人や集団の権利を擁護すると共に社会の秩序を維持する機能を有していることを理解する。 ・世界の政治体制と比較することで民主政治の本質を理解する。	・指導事項 1 政治とはなにか 2 法とはなにか テーマ 権利と義務を考える 3 現代民主政治へのあゆみと基本原則 4 議会制民主主義と世界の政治体制 ・教材 教科書・ワークノート・一人1台 端末	【知識・技能】 政治と法の意義と機能、権利と義務との関係、議会制民主主義について現実社会の諸事情を通して理解している。 私法に関する基本的な考え方について理解している。 【思考・判断・表現】 民主政治の本質を基に、憲法と現代政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	5
B 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本国憲法は基本的人権の尊重、国民主権を基本原則とする点で国民国家の枠を超えた普遍性を持っていることを理解する。 ・日本国憲法は民主政治の諸原理と深い関係があることを理解する。	・指導事項 5 日本国憲法の成立と基本原則 6 基本的人権と新しい人権 ・教材 教科書・ワークノート・一人1台 端末	【知識・技能】 基本的人権の保障と法の支配について現実社会の諸事情を通して理解している。 【思考・判断・表現】 現代の政治、民主政治の本質、日本国憲法の制定過程および基本原則について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の政治について関心をもち、抱える課題を解決しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
1 学期 C 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・平和と安全の確保が、人類の福祉を実現する上で欠くことのできないものであることを理解する。 ・日本国憲法の平和主義を理解するとともに、日本の安全保障と防衛について理解を深める。	・指導事項 7 平和主義と安全保障 ・教材 教科書・ワークノート・一人1台 端末	【知識・技能】 日本国憲法の平和主義と我が国の安全保障に関する諸資料から課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日本国憲法の平和主義と我が国の安全保障について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 平和で民主的な国家及び社会の有意な形成者としての自覚をもって日本国憲法における平和主義を理解しようとしている。	○	○	○	8

2 学 期	<p>第2章 空間のベクトル</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 座標空間における図形の座標や距離を求めることができるようにする。 ベクトルの基本性質が平面と同様であることを理解し、それを扱うことができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 座標空間における図形を点の座標や距離を用いて表すことができるようにする。 平面のベクトルと同様にして、空間のベクトルを利用した表現・処理ができるようにする。 空間図形を、位置ベクトルを用いて表現・処理することができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平面のベクトルから空間のベクトルへの拡張に興味を示すようにする。 空間図形において、ベクトルの内積や位置ベクトルを用いて考察しようとする。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間の点 空間のベクトル ベクトルの成分 ベクトルの内積 ベクトルの図形への応用 座標空間における図形 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書、問題集、参考書 一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 	<p>【知識・技能】</p> <p>定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>定期考査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>課題提出</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	<p>第3章 複素数平面</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複素数の和、差及び実数倍の図表示を、ベクトル和、差及び実数倍と関連付けて扱うことができるようにする。 複素数の乗法・除法を、その回転と拡大・縮小として考察できるようにする。 ド・モアブルの定理を用いて、累乗の計算や二項方程式を解くことができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複素数を極形式で表し、乗法・除法をその回転と拡大・縮小として処理することができるようにする。 累乗の計算や二項方程式を、複素数の幾何学的意味と関連付けてとらえることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複素数を複素数平面上で表し、諸性質を用いて考察しようとするようにする。 いろいろな図形を、複素数平面を利用することで考察し、その有用性を理解しようとするようにする。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 複素数平面 複素数の極形式 ド・モアブルの定理 複素数と図形 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書、問題集、参考書 一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 	<p>【知識・技能】</p> <p>定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>定期考査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>課題提出</p>	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>第4章 式と曲線</p> <p>第1節 2次曲線</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次曲線の個々の特徴を理解し、分類することができるようにする。 直交座標と極座標の書き換えができる。 媒介変数表示された曲線をかくことができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次曲線の準線、焦点など、図形的な特徴を表現することができるようにする。 いろいろな曲線を媒介変数を用いて表現することができるようにする。 円や曲線について極座標を用いた方程式で表現することができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次曲線の図形的な性質について調べようとするようにする。 極座標による表現に興味をもち、図形の方程式を極座標で表現しようとするようにする。 媒介変数や極座標を用いて表された曲線に興味をもち、その曲線をかこうとするようにする。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 放物線・楕円・双曲線 2次曲線の平行移動 2次曲線と直線 2次曲線の性質 曲線の媒介変数表示 極座標と極方程式 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書、問題集、参考書 一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 	<p>【知識・技能】</p> <p>授業での取り組み</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>授業での取り組み</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>課題提出</p>	○	○	○	16
							合計
						68	

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 数学 科目 受験数学ⅠA

教科： 数学 科目： 受験数学ⅠA 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組 選択

使用教科書： (改訂版高等数学Ⅰ, 改訂版高等数学ⅡA, 新課程 シニア 数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C [ベクトル] 受験編)

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理などを体系的に理解し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して論理的に考察する、思考の過程を統合的・発展的に考察して表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。

科目 受験数学ⅠA の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	4 月	数と式 【知識及び技能】二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 【主体的に学習に取り組む態度】数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 因数分解 実数 1次不等式 ・教材 教科書、問題集、参考書 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出 	○	○	○	5
	5 月	場合の数・確率 【知識及び技能】確率の意味や基本的な法則について理解を深め、事象の確率や期待値を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。 【主体的に学習に取り組む態度】確率の求め方の違いを考察して興味・関心を持ち、適切に求められるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 独立な試行の確率 条件付き確率、期待値 ・教材 教科書、問題集、参考書等 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等 	○	○	○	8
		定期考査			○	○		1
	6 月	命題と証明 【知識及び技能】集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。 【主体的に学習に取り組む態度】数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 命題と証明 命題と条件 ・教材 教科書、問題集、参考書等 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出 	○	○	○	8
7 月	平面図形・空間図形 【知識及び技能】三角形、円などの基本図形に関する性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】図形の新たな性質を見出し、その性質を論理的に考察して説明できること。 【主体的に学習に取り組む態度】複雑な図形において、性質の利用方法に関して興味・関心を持ち、適切に求められるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 三角形の辺の比 三角形の外心・内心・重心 ・教材 教科書、問題集、参考書等 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等 	○	○	○	7	
	定期考査			○	○		1	

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 物理

教科：理科 科目：物理 単位数：6 単位

対象学年組：第3学年 5組～6組

使用教科書：（高等学校 物理（数研出版））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	力学、電磁気、熱、波動、原子物理の各分野の概念が相互に関連していることを理解できるようにする。	森羅万象に主体的に関わり、それらを物理学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	円運動 【知識及び技能】 円運動の原因となる力の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 円運動についての運動方程式が正しく立式できる。 【学びに向かう力、人間性等】 円運動が生じる現象に自ら気が付き、更に円運動が成り立つ条件を法則として分析する。 定期考査	向心加速度 向心力 慣性力	【知識・技能】 ・様々な場合の向心力を正確に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・複雑な力が物体に働く環境に対して、正しく運動方程式を立式できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・円運動が生じる現象に自ら気が付き、更に円運動が成り立つ条件を法則として分析する。	○	○	○	31
	電磁気学 【知識及び技能】 電場や電位という概念が明確に理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 電場や電位の概念から、回路内の電磁気現象を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 電磁気現象の特性と現象と向き合い、学習する。 定期考査	点電荷 コンデンサー 直流回路 電流と磁場 電磁誘導 交流	【知識及び技能】 電場や電位という概念が明確に理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 電場や電位の概念から、回路内の電磁気現象を理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 電磁気現象の特性と現象と向き合い、学習する。	○	○	○	35
	定期考査			○	○		1
2 学 期	総合演習 【知識及び技能】 全単元を横断した知識や考え方が身に付く。 【思考力、判断力、表現力等】 獲得した知識や考え方を基に、複雑な現象を読み解く。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の地を越え、発想をよぎらせる現象を 定期考査	全単元	【知識及び技能】 全単元を横断した知識や考え方が身に付いている。 【思考力、判断力、表現力等】 獲得した知識や考え方を基に、複雑な現象を読み解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の地を越え、発想をよぎらせる現象を	○	○	○	42
	定期考査			○	○		2
3 学 期	総合演習 【知識及び技能】 全単元を横断した知識や考え方が身に付く。 【思考力、判断力、表現力等】 獲得した知識や考え方を基に、複雑な現象を読み解く。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の地を越え、発想をよぎらせる現象を	全単元	【知識及び技能】 全単元を横断した知識や考え方が身に付いている。 【思考力、判断力、表現力等】 獲得した知識や考え方を基に、複雑な現象を読み解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の地を越え、発想をよぎらせる現象を				60
							合計
							130

年間授業計画

向丘 高等学校 令和7年度(3学年用) 教科：理科 科目：化学

教科：理科 科目：化学 単位数：6 単位

対象学年組：第 3 学年 選択5,7組

使用教科書：(高等学校 化学 第一学習社)

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	評価の観点			配当 時数
			知	思	態	
物質の状態変化 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。	物質の三態とその変化 気体分子の熱運動と圧力 飽和蒸気圧と蒸気圧曲線 問題演習	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。	○	○	○	4
気体の性質 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。	ボイルの法則 シャルルの法則 ボイルシャルルの法則 気体の状態方程式 実在気体の状態方程式 理想気体と実在気体 問題演習	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。	○	○	○	7
固体の構造 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。	化学結合と結晶の種類 金属結晶の構造 イオン結晶の構造 共有結合の結晶の構造 分子結晶の構造 非晶質 問題演習	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。	○	○	○	6

1 学 期	<p>液体の性質</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>溶解と溶液 ヘンリーの法則 蒸気圧降下 沸点上昇 凝固点効果 浸透圧 コロイド 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	○	○	○	6
	<p>化学反応と熱・光</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>化学反応とエネルギー エンタルピー変化 熱化学方程式 エネルギー図 反応エンタルピーの種類 ヘスの法則 結合エネルギー 化学反応と光 エントロピー エンタルピーとエントロピーに関する実験 自発的な変化とギブズエネルギー 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	○	○	○	12
	定期考査(1学期中間考査)			○	○		1
	考査返却・単元の振り返り					○	1
	<p>電池・電気分解</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>電池の仕組み ボルタ電池 ダニエル電池 マンガン乾電池 鉛蓄電池 燃料電池 リチウムイオン電池 電気分解 ファラデーの法則 電解精錬 溶融塩電解 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	○	○	○	12
	<p>化学反応の速さ</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>反応速度 反応速度式と反応速度定数 化学反応の速さと濃度 化学反応の速さと温度 触媒 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	○	○	○	6
<p>化学平衡</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>可逆反応 化学平衡 平衡定数 圧平衡定数 ルシャトリエの原理 濃度変化と平衡移動 共通イオン効果 圧力変化と平衡移動 温度変化と平衡移動 ルシャトリエの原理の応用 反応速度定数と平衡定数の関係 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	○	○	○	12	

<p>電離平衡</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>弱酸・弱塩基の電離定数 電離度とpH 電離定数とpH 酸の段階電離 塩の性質と反応 弱酸、弱塩基の遊離 加水分解における平衡定数 緩衝作用 中和滴定曲線と緩衝作用 溶解度積 沈澱滴定 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	○	○	○	12
定期考査(1学期期末考査)			○	○		1
考査返却・単元の振り返り					○	1
<p>非金属元素</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>水素 18族元素 -貴ガス- 17族元素 -ハロゲン- 16族元素 -酸素と硫黄- 15族元素 -窒素とリン- 14族元素 -炭素とケイ素- 無機化学工業 原子軌道</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	○	○	○	2
<p>典型金属元素</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>アルカリ金属 アンモニアソーダ法 2族元素の単体 2族元素の化合物 両性金属 アルミニウム スズ、鉛とその化合物 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	○	○	○	4
<p>遷移元素</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>遷移元素の特徴 鉄 銅 銀 亜鉛 クロムとマンガン 金属イオンの定性分析 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	○	○	○	6
<p>有機化合物の特徴</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>有機物の特徴と分類 構造式の決定</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	○	○	○	2

2
学
期

<p>脂肪族炭化水素</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>アルカン 置換反応 アルケン 付加反応 マルコフニコフ則 アルケンの酸化 アルキン 重合反応 不飽和度 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>10</p>
<p>酸素を含む脂肪族炭化水素</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>アルコール エーテル アルデヒド ケトン カルボン酸 鏡像異性体 エステル 油脂 セッケン 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>6</p>
<p>芳香族化合物</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>ベンゼン 芳香族炭化水素 ベンゼンの置換反応 ベンゼンの付加反応 フェノール クメン法 芳香族カルボン酸 サリチル酸 芳香族アミン アゾ化合物 置換基の配向性 芳香族化合物の分離 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>12</p>
<p>定期考査(2学期中間考査)</p>			<p>○</p> <p>○</p>	<p>1</p>
<p>考査返却・単元の振り返り</p>			<p>○</p>	<p>1</p>
<p>天然高分子化合物</p> <p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。</p>	<p>高分子化合物の特徴 単糖・二糖 多糖 アミノ酸 タンパク質 核酸 問題演習</p>	<p>【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>6</p>

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物

教科：理科 科目：生物 単位数：6 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 高等学校 生物（第一学習社） ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>生物の進化</p> <p>【知識及び技能】 生物の進化と系統について、形質および遺伝子の変化との関係から理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生物の進化と系統について、形質および遺伝子の変化との関係から論理的に説明し、考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>生命の起源と細胞の進化 遺伝子の変化 遺伝子の組み合わせの変化 進化の仕組み 生物の系統と進化 人類の系統と進化</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命の起源と細胞の変化について理解している。 ・遺伝子の変化と遺伝子の組み合わせの変化について理解している。 ・進化のしくみについて理解している。 ・系統分類の方法を理解している。 ・霊長類の進化の過程と形質の特徴を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料にもとづいて、特定の生物のグループの出現・繁栄が気組成の変化と関りがあることを見出し、説明することができる。 ・塩基配列の変化と形質の変化の関係を説明することができる。 ・減数分裂や染色体の連鎖によって遺伝子の組み合わせが変化しうることを説明できる。 ・進化のしくみに関するモデル実験の結果にもとづいて、遺伝子頻度が変化する要因について説明することができる。 ・霊長類に関する資料にもとづいて、形態的特徴と進化の関連について説明することができる。 ・分子時計を用いて主間関係や分岐時期の推定法を論理的に説明し、活用することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命の誕生や細胞の進化の学習において、自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。 ・遺伝子の変化、遺伝子の組み合わせの変化の学習において、自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。 ・実験結果にもとづいて、遺伝子頻度が変化する要因について論理的に考察しようとする。 	○	○	○	31
<p>生命現象と物質</p> <p>【知識及び技能】 生命の設計図であるDNAを中心に、分子生物学の基礎的な知識を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 DNA研究の諸実験について、研究方法を科学的に理解し説明できる。形質発現について、塩基配列をもとにタンパク質合成が行われる過程を踏まえて、説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 バイオテクノロジーの発展がもたらす恩恵と倫理的な問題の両面を意識し、先端技術に対する自己の考えを形成する。</p>	<p>生体物質と細胞 生命現象とタンパク質 呼吸 光合成</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞を構成する物質の構造と性質について理解している。 ・タンパク質の構造と性質および生命現象への関わりについて理解している。 ・代謝における化学変化の過程を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真核細胞内の細胞骨格や構造体の特徴について説明することができる。 ・生体内に存在するタンパク質がそれぞれ特有の働きをもつ理由を説明することができる。 ・さまざまな膜輸送のしくみを説明することができる。 	○	○	○	31

1 学期

		<ul style="list-style-type: none"> 代謝における反応過程について、物質とエネルギーの両面から説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 細胞を構成する物質の学習において、自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。 タンパク質の構造と性質の学習において、自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。 					
定期考査			○	○			1
<p>遺伝子情報の発現と発生</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>生命の設計図であるDNAを中心に、分子生物学の基礎的な知識を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>DNA研究の諸実験について、研究方法を科学的に理解し説明できる。形質発現について、塩基配列をもとにタンパク質合成が行われる過程を踏まえて、説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>バイオテクノロジーの発展がもたらす恩恵と倫理的な問題の両面を意識し、先端技術に対する自己の考えを形成する。</p>	<p>遺伝情報とその発現</p> <p>遺伝子の発現調節</p> <p>発生と遺伝子発現</p> <p>遺伝子を扱う技術</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> DNAも構造と複製、遺伝子の転写と翻訳の過程、遺伝子の発現調節のしくみについて理解している。 遺伝子の発現と発生の進行の関係を理解している。 遺伝子を扱う技術の内容と活用について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> DNAの複製の過程を関係する酵素の特性をもとに説明することができる。 転写・翻訳の過程における、原核生物と真核生物の違いを説明することができる。 資料にもとづいて、状況に応じて必要な遺伝子の発現調節が行われていることを見出し、説明することができる。 器官形成には複数の遺伝子の発現調節が大きく関わっていることを説明することができる。 遺伝子の構造や発現の解析方法の方法について説明することができる。 遺伝子を扱う技術の進歩によって、どのような課題が生じているか説明することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> DNAを取り扱う技術とその基本原理について、自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。 遺伝子を扱う技術の倫理的問題について、積極的に考えている。 発生に関わる遺伝子の発現調節の研究の過程について自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを 	○	○	○	35	
定期考査			○	○			1
<p>生物の環境応答</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ニューロンの構造と働きをもとに、刺激の受容から反応までの過程を理解している。 神経回路の働きをもとに、動物の生得的行動と習得的行動について理解している。 植物ホルモンの働きをもとに、植物の一生を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>臓器のネットワークが恒常性を維持するしくみを説明できる。体が外部環境から大きく影響を受けたときに、体内ではどのような変化が起こるかかを推定できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>体内の恒常性のしくみの理解を生かして、健康を意識した生活を送る。</p>	<p>刺激の受容と反応</p> <p>動物の行動</p> <p>植物と環境</p> <p>植物の一生とホルモン</p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 興奮の発生やニューロン間を伝わるしくみを化学物質の挙動をもとに論理的に説明することができる。 動物の行動に関する実験について、自ら実験を計画することができる。 植物ホルモンが植物の生活に及ぼす影響を論理的に説明することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 興奮の発生やニューロン間を伝わるしくみを化学物質の挙動をもとに論理的に説明することができる。 動物の行動に関する実験について、自ら実験を計画することができる。 植物ホルモンが植物の生活に及ぼす影響を論理的に説明することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験に積極的に取り組んでいる。 神経系による情報の伝達のしくみの学習において、自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。 動物の行動について、自分の経験などをもとに関心をもって学習に取り組んでいる。 植物の一生とホルモンの関係の学習において、自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。 	○	○	○	42	
2学期	個体群と生物群集						

	<p>生態と環境</p> <p>【知識及び技能】 生態系における生物相互の関係、物質の循環やエネルギーの流れについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生態調査の方法について、論理的に説明でき、計画することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生物多様性の保全について、総合的な視点から考え、行動しようとする。</p>	<p>生態系の物質生産と消費 生態系と人間生活</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個体群と相互作用について理解している。生態系は、非生物的環境と生物からなることを理解している。 ・生態系における物質生産について理解している。 ・人間活動が生態系や生物多様性に及ぼす影響について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標本調査の方法を用いて生物の個体数を推定することができる。 ・層別刈取法により生産構造図を作製することができる。 ・生息地の分断や乱獲、気候変動、外来生物の侵入などが、生物多様性を低下させるしくみについて説明することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個体群と生物群集の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 ・生態系の各栄養段階の物質収支について自分の学習状況を振り返ったり、新たに生じた疑問やそれを解決する方法などを模索したりしている。 ・生物多様性の保全について、積極的に学習 				38
	定期考査			○	○		2
3 学 期	<p>総合演習</p> <p>【知識及び技能】 入試問題演習を通して生命現象の理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 入試問題演習を通して、論理的に思考、判断、表現する力を伸ばす。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 入試問題演習を通して、生物に対する関心を高める。</p>	総合内容	<p>【知識及び技能】 入試問題演習を通して生命現象の理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 入試問題演習を通して、論理的に思考、判断、表現する力を身につけている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 入試問題演習を通して、生物に対する関心を高め、課題を把握し調整することが出来る。</p>				60
							合計 130

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 地球環境の科学

教科：理科 科目：地球環境の科学 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～8組

使用教科書：（化学基礎 第一学習社）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】問題演習を通して、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 地球環境の科学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	I C T端末を使った調べ学習やその他のメディアを活用し地球の現状を知るとともに、必要に応じて観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	地球に生きる私たち 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。	日本の自然の恵みと防災 ・日本の自然環境の特徴 ・日本の自然の恵み ・気象災害と防災 ・地震による災害と防災 ・火山による災害と防災	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。	○	○	○	10
	総合演習 【知識及び技能】 地球環境について考えるものとなる知識が身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 様々なデータをもとに問題を解決するために求められる思考力、判断力、表現力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 課題の内容に興味を持ち、自らP Cを活用して資料を調べる。	地球環境に関する課題解決 ・地球環境の考え方 ・自然環境の変化 ・人間活動がもたらす自然環境の変化 ・地球環境に対する取り組み ・代替エネルギー ・持続可能な発展へ	【知識・技能】 ・地学基礎の用語とその意味を理解している。 ・データ処理の基本的な方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・地球環境の問題を論理的に考えることができ、自分の言葉で説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・興味や好奇心をもって課題に取り組み、地学への理解を深めようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2 学期	総合演習 【知識及び技能】 標準～応用レベルの入試問題に求められる知識が身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 標準～応用レベルの入試問題を解答するために求められる思考力、判断力、表現力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 本単元の内容に興味を持ち、自ら文献等を調べる。	基礎～標準レベルの入試問題演習 分野ごとの練習問題 一問一答形式の問題 文章完成形式の問題 記述形式の問題 融合問題 共通テスト形式の問題 論述形式の問題	【知識・技能】 ・地学基礎の用語とその意味を理解している。 ・データ処理の基本的な方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・異なる分野を組み合わせた問題を論理的に考えることができ、自分の言葉で説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・興味や好奇心をもって課題に取り組み、地学への理解を深めようとしている。	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
3 学期	総合演習 【知識及び技能】 標準～応用レベルの入試問題に求められる知識が身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 標準～応用レベルの入試問題を解答するために求められる思考力、判断力、表現力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 問題演習を通して、地球で起きる現象の理解を深化させようとする姿勢をもつ。	分野ごとの練習問題 一問一答形式の問題 文章完成形式の問題 記述形式の問題 融合問題 共通テスト形式の問題 論述形式の問題	【知識・技能】 ・地学基礎の用語とその意味を理解している。 ・データ処理の基本的な方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・異なる分野を組み合わせた問題を論理的に考えることができ、自分の言葉で説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・興味や好奇心をもって課題に取り組み、地学への理解を深めようとしている。	○	○	○	22
							合計 70

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 保健体育科 科目 体育

教科：保健体育科 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（現代高等保健体育 ）

教科 保健体育科 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解すると共に、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することが出来るようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1・2学期ともに、以下から1種目ずつ選択して実施						
<p>バスケットボール</p> <p>【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動の観察などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事などが健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育ノートの作成 ・調べ学習 ・各種シュートの練習 ・様々なステップを使用したランニングシュートの練習 ・アウトナンバーの練習 ・空いたスペースに飛び込む動きを習得する ・試合 	<p>【知識及び技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ②ゴール前での攻防を展開するためのボール操作と空間に走りこむなどの動きができる。 ③ゴール前への侵入などから攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。 ②技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。 ③話し合いの場面で、合意を形成するための適切なかわり方を見つけている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自分の技能を高めるためにすすんで学習に取り組もうとしている。 ②課題を解決するための話し合いや作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 	○	○	○	
<p>バレーボール</p> <p>【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって、空いた場所をめぐる攻防を展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育ノート作成 ・個人でのボール操作の練習 ・対人でのボール操作の練習 ・動きながらのボール操作の練習 ・サーブ、カットの練習 ・スパイクの仕方の確認と練習 ・攻防の中でチャンスがあれば2アタックが有効であることを確認し、練習する ・自分たちで役割を決め、審判をする。 ・チームの改善点を見つけ、練習をして試合に活かす。 ・試合 	<p>【知識及び技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①空いた場所をめぐる攻防を展開するためのボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きができる。 ②ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身に付けている。 ③試合の運営の仕方を知っている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の仕方のポイントを見つけている。 ②自己やチームの課題を見つけている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自分の技能を高めるためにすすんで学習に取り組もうとしている。 ②課題を解決するための話し合いや作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 	○	○	○	

	<p>バドミントン</p> <p>【知識及び技能】 個人的技能やペアとの連携能力を高め、自分やペアの能力に応じたゲームができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分やペアの能力に適した課題を設定するとともに、その解決を目指して練習方法を工夫し、技能を生かした作戦を立て、ゲームができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 活動場所や用具などの安全を確かめ、まわりを確認してラケットを振るなど、健康・安全に留意して練習やゲームを行う態度を身に付けられるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育ノート作成 ・サービスについてのルール確認、練習 ・ハイクリアー、ドライブ、ドロップ、ヘアピンの習得 ・ショット別ラリー ・シングルスゲームのルール、運営の仕方を確認 ・ダブルスゲームのルール、運営の仕方を確認 ・試合 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①個人的技能の構成と自分のレベル、それらをもつための練習の仕方を把握している。</p> <p>②各種フライングやサービス、レシーブなどの個人的技能を身に付けている。</p> <p>③味方や状況に応じて変化をつけて前後左右の空いた場所に打ち分けたりリズムを変えたりしている。</p> <p>④ルールを理解して試合の運営をしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①自分やグループの能力に応じて適切にグループの課題を見つけ、計画的な練習の仕方を工夫している。</p> <p>②試合の結果や対戦相手を分析し、自分(ペア)の技能程度に応じた作戦を立てようとする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①自分の技能を高めるためにすすんで練習に取り組もうとしている。</p> <p>②課題を解決するための話し合いや作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○
1 学 期	<p>フライングサッカー</p> <p>【知識及び技能】 技術などの名称や行い方、課題解決の方法などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに自己の考えたことを他者に伝えることができるようにすること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、合意形成に貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなど、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育ノートの作成 ・対面パス、キャッチ ・ボールの運び方の練習 ・DFを置いた状態でオフサイドルール適用のミニゲーム ・チームの課題に応じた練習 ・チームに分かれゲーム形式。試合を重ねる中で相手に応じた作戦を考えていく。 ・試合 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防することができる。</p> <p>②対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。</p> <p>②提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</p> <p>③学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①自分の技能を高めるためにすすんで学習に取り組もうとしている。</p> <p>②作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○

<p>サッカー</p> <p>【知識及び技能】 技術などの名称や行い方、課題解決の方法などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携したゲームを展開することができる。状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、健康・安全を確保できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育ノートの作成 ・対面パス、コーンドリブル ・ポストシュート ・センタリングシュート ・DFを置いた状態でオフサイドルール適用のミニゲーム ・チームの課題に応じた練習 ・チームに分かれゲーム形式。試合を重ねる中で相手に応じた作戦を考えていく。 ・試合 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防することができる。</p> <p>②対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。</p> <p>②提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</p> <p>③学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①自分の技能を高めるためにすすんで学習に取り組もうとしている。</p> <p>②作戦などについて話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○
<p>ターゲットゴルフ</p> <p>【知識及び技能】 個人的技能を高め、自分の能力に応じたクラブ操作ができる。また、用具の名称やコースを回る際に必要な用語を理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の能力に適した課題を設定するとともに、その解決を目指して練習方法を工夫し、技能を生かした作戦を立て、コースを周ることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 活動場所や用具などの安全を確認、まわりを確認してクラブを振るなど、健康・安全に留意して練習やコースを周る態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育ノートの作成 ・用具の名称の確認 ・安全への配慮の確認 ・クラブの握り方の確認 ・クラブの振り方の確認 ・基礎打ちの練習 ・高く浮かす練習 ・目標物をめがけて打つ練習 ・コースの周り方確認 ・コースを周る 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①用具の準備、準備運動、練習の仕方やターゲットゴルフの用語を知っている。</p> <p>②個人的技能の構成と自分のレベル、それらを高めるための練習の仕方を把握している。</p> <p>③各種ショットの個人的技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①自分の能力に応じて適切に課題を見つけ、計画的な練習の仕方を工夫している。</p> <p>②コースの結果を分析し、自分の技能程度に応じた作戦を立てようとする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①自分の技能を高めるためにすすんで学習に取り組もうとしている。</p> <p>②課題を解決するための話し合いや作戦などについて話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○
<p>バスケットボール</p> <p>【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動の観察などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育ノートの作成 ・調べ学習 ・各種シュートの練習 ・様々なステップを使用したランニングシュートの練習 ・アウトナンバーの練習 ・空いたスペースに飛び込む動きを習得する ・試合 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>②ゴール前での攻防を展開するためのボール操作と空間に走りこむなどの動きができる。</p> <p>③ゴール前への侵入などから攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。</p> <p>②技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</p> <p>③話し合いの場面で、合意を形成するための適切なかわり方を見つけている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①自分の技能を高めるためにすすんで学習に取り組もうとしている。</p> <p>②課題を解決するための話し合いや作戦などについて話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○
<p>バレーボール</p> <p>【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって、空いた場所をめぐる攻防を展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育ノート作成 ・個人でのボール操作の練習 ・対人でのボール操作の練習 ・動きながらのボール操作の練習 ・サーブ、カットの練習 ・スパイクの仕方の確認と練習 ・攻防の中でチャンスがあれば2アタックが有効であることを確認し、練習する ・自分たちで役割を決め、審判をする。 ・チームの改善点を見つけ、練習をして試合に活かす。 ・試合 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①空いた場所をめぐる攻防を展開するためのボールや用具の操作と定位位置に戻るなどの動きができる。</p> <p>②ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身に付けている。</p> <p>③試合の運営の仕方を知っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の仕方のポイントを見つけている。</p> <p>②自己やチームの課題を見つけている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①自分の技能を高めるためにすすんで学習に取り組もうとしている。</p> <p>②課題を解決するための話し合いや作戦などについて話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○
<p>バドミントン</p> <p>【知識及び技能】 個人的技能やペアとの連携能力を高め、自分やペアの能力に応じたゲームができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分やペアの能力に適した課題を設定するとともに、その解決を目指して練習方法を工夫し、技能を生かした作戦を立て、ゲームができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 活動場所や用具などの安全を確認、まわりを確認してラケットを</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育ノート作成 ・サービスについてのルール確認、練習 ・ハイクリアー、ドライブ、ドロップ、ヘアピンの習得 ・ショット別ラリー ・シングルスゲームのルール、運営の仕方を確認 ・ダブルスゲームのルール、運営の仕方を確認 ・試合 	<p>【知識及び技能】</p> <p>①個人的技能の構成と自分のレベル、それらを高めるための練習の仕方を把握している。</p> <p>②各種フライトやサービス、レシーブなどの個人的技能を身に付けている。</p> <p>③味方や状況に応じて変化をつけて前後左右の空いた場所に打ち分けたりリズムを変えたりしている。</p> <p>④ルールを理解して試合の運営をしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①自分やグループの能力に応じて適切にグループの課題を見つけ、計画的な練習の仕方を工夫している。</p> <p>②試合の結果や対戦手を分析し、自分(ペ</p>	○	○	○

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 芸術 科目 実践音楽演習

教科：芸術 科目：実践音楽演習 単位数： 単位

対象学年組：第 3 学年 組～ 組

使用教科書：（ ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を：

科目 実践音楽演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創					
1 学 期	弾き歌いにチャレンジしよう—ギターかピアノを選択して— 【知】ギター及びピアノの基礎的・基本的な技能を身に付け、各自が選択した楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって音楽表現をするために必要な発声、読譜、伴奏の技能を身に付け、創造的に表す。 【思】リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱と伴奏の関わりを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、楽曲の表現内容を総合的に理解し、どのように歌うか表現意図をもつ。 【態】各自が選択した楽曲の表現内容に関心をもち、弾き歌いという音楽の形態に意欲的に協働して取り組む。	【指導事項】 ・ギター及びピアノの基本奏法を理解し、アンサンブルに親しむ。 ・ふさわしい表現を創意工夫して演奏する。 【教材】 ・自由課題							8
	アンサンブルを楽しもう 【知】様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解し、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲技能を身に付け、器楽で表す。 【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図をもって演奏する。 【態】個性豊かに器楽表現を創意工夫しながら主体的・協働的に学習活動に取り組む。	【指導事項】 ・器楽演奏において必要な表現の技術及び知識を学び、イメージをもって演奏活動に取り組む。 ・アンサンブルの特徴を理解する。 【教材】 ・器楽アンサンブル「崖の上のポニョ」「アナと雪の女王メドレー」							14
	言葉の特性と曲種に応じた発声を理解し、表現を創意工夫しながら歌唱しよう 【知】言葉の特性と曲種に応じた発声について理解し、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱する。 【思】音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。 【態】言葉のリズムや抑揚、語感、歌詞が旋律の流れやフレーズにどのように表され、曲想を生み出しているかに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	【指導事項】 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらがどのように表現に影響するのか考え、歌唱する。 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて意見を交換し理解を深める。 【教材】 ・自由課題							6
	ピアノアンサンブルを楽しもう 【知識及び技能】 曲想とピアノの音色や奏法との関わりについて理解し、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。	【指導事項】 ・ピアノの基本奏法を理解し、ピアノアンサンブルに親しむ。 ・ふさわしい表現を創意工夫して演奏する。 【教材】							

期	<p>同格のthat, 同格のof, 否定の倒置構文等を理解し, 概要や要点を捉える技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 同格のthat, 同格のof, 否定の倒置構文等を用いて, 自分にとっての壁とは何か, 考えや気持ちを話して伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 同格のthat, 同格のof, 否定の倒置構文等を用いて, 自分にとっての壁とは何か, 考えや気持ちを話して伝える。</p>	<p>Listen and choose Comprehension Grammar Expression Summary Production Express Yourself Exercises Let's try Reading Skill</p>							<p>同格のthat, 同格のof, 否定の倒置構文等を理解し, 概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 同格のthat, 同格のof, 否定の倒置構文等を用いて, 自分にとっての壁とは何か, 考えや気持ちを話して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 同格のthat, 同格のof, 否定の倒置構文等を用いて, 自分にとっての壁とは何か, 考えや気持ちを話して伝えようとしている。</p>				14
定期考査													1

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 外国語 科目 論理表現Ⅲ

教科： 外国語

科目： 論理・表現Ⅲ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： (be English Logic and Expression Ⅲ Smart, 総合英語 Evergreen, 総合英語Evergreen 準拠 English Grammar 23 Lessons Workbook updated, Vintage 4th Edition 準拠ランダム問題集 Aviator)

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】単元の内容の概要や要点を理解することができ、関連する言語材料を用いることができる。

【思考力、判断力、表現力等】単元の内容に関連する事柄について理解を深め、考え、論理的に表現する。

【学びに向かう力、人間性等】単元の内容に関連する事柄について、自分に関連付けて考え、論理的に伝える。

科目 論理表現Ⅲ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開、事前の準備などにおいて、さまざまな構文を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付ける。2学年次に学んだ知識・技能をさらに発展的に活用できる技能を身に付けている。	多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができる。また、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。	多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合ったり、立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 「 や 」	話 「 発 」	書					
1 学 期	UNIT1～4 【知識及び技能】 さまざまな構文を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 さまざまな構文を用いて、資料や、大衆文化、インタビュー、コミュニケーションについて、考えや気持ちを話して伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな構文を用いて、資料や、大衆文化、インタビュー、コミュニケーションについて、考えや気持ちを話して伝える。	○語彙力、文法力、一般常識、要約力の4つの力を高めると同時に、論理的に文章を理解する力を養う。 ○本文に関連することについて英語で自分の考えを表現させる。	○	○	○	○	○	○	○	○	9
	定期考査						○	○			1
	UNIT5-8 【知識及び技能】 さまざまな構文を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 さまざまな構文を用いて、自然環境や、社会生活、エネルギー、娯楽について、考えや気持ちを話して伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな構文を用いて、自然環境や、社会生活、エネルギー、娯楽について、考えや気持ちを話して伝える。	○語彙力、文法力、一般常識、要約力の4つの力を高めると同時に、論理的に文章を理解する力を養う。 ○本文に関連することについて英語で自分の考えを表現させる。	○	○	○	○	○	○	○	○	9
定期考査							○	○			1

2 学 期	<p>UNIT9-12</p> <p>【知識及び技能】 さまざまな構文を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 さまざまな構文を用いて、比較文化、エッセイ、日常生活、言語について、考えや気持ちを話して伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな構文を用いて、比較文化、エッセイ、日常生活、言語について、考えや気持ちを話して伝える。</p>	<p>○語彙力、文法力、一般常識、要約力の4つの力を高めると同時に、論理的に文章を理解する力を養う。</p> <p>○本文に関連することについて英語で自分の考えを表現させる。</p>	○	○	○	○	○	○	○	9	
	定期考査									○	○
2 学 期	<p>UNIT 13-16</p> <p>【知識及び技能】 さまざまな構文を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 さまざまな構文を用いて、環境、ノンフィクション、日本文化、健康・医学について、考えや気持ちを話して伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな構文を用いて、環境、ノンフィクション、日本文化、健康・医学について、考えや気持ちを話して伝える。</p>	<p>○語彙力、文法力、一般常識、要約力の4つの力を高めると同時に、論理的に文章を理解する力を養う。</p> <p>○本文に関連することについて英語で自分の考えを表現させる。</p>	○	○	○	○	○	○	○	9	
	定期考査									○	○
3 学 期	<p>UNIT 17-20</p> <p>【知識及び技能】 さまざまな構文を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 さまざまな構文を用いて、教育、政治、産業、科学技術について、考えや気持ちを話して伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな構文を用いて、教育、政治、産業、科学技術について、考えや気持ちを話して伝える。</p>	<p>○語彙力、文法力、一般常識、要約力の4つの力を高めると同時に、論理的に文章を理解する力を養う。</p> <p>○本文に関連することについて英語で自分の考えを表現させる。</p>									
										合計	
											40

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 外国語 科目 英語演習応用

教科： 外国語 科目： 英語演習応用 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： （ THE LEVELS 2 私大上位レベル 大学入試 英語長文問題集 ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を聞くこと，読むこと，話すこと，書くことにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 社会的な話題や日常的な話題について，目的や場面，状況などに応じて，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語演習応用 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会的・日常的な話題について、読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる力を身に付ける。語彙や文法等、2学年次に学んだ知識・技能をさらに発展的に活用できる技能を身に付ける。	知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。	読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 「 や 」	話 「 発 」	書					
A 単元 Lesson 1・2 【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 与えられた長文を読んで、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 与えられた長文を聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。	(1) 語彙・熟語力、文法力、情報を整理して要約する力、書き手や話し手の意図や内容の詳細を捉える力を強化する。 (2) 時事的な事柄や社会問題に関する知識を増やし、問題の論点を理解し、それに対して論理的に英語で自分の考えを表現(話す・書く)できる力を強化する。 (3) 一人1台端末の活用。										
		○	○	○	○	○	【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 与えられた長文について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 与えられた長文について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。	○	○	○	4

<p>D 単元 Lesson 6</p> <p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 与えられた長文について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 与えられた長文について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。</p>	<p>(1) 語彙・熟語力、文法力、情報を整理して要約する力、書き手や話し手の意図や内容の詳細を捉える力を強化する。 (2) 時事的な事柄や社会問題に関する知識を増やし、問題の論点を理解し、それに対して論理的に英語で自分の考えを表現(話す・書く)できる力を強化する。 (3) 一人1台端末の活用。</p>						<p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 与えられた長文について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 与えられた長文について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。</p>				4
<p>定期考査(期末)</p>											1
<p>E 単元 Lesson 7・8</p> <p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 与えられた長文について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 与えられた長文について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。</p>	<p>(1) 語彙・熟語力、文法力、情報を整理して要約する力、書き手や話し手の意図や内容の詳細を捉える力を強化する。 (2) 時事的な事柄や社会問題に関する知識を増やし、問題の論点を理解し、それに対して論理的に英語で自分の考えを表現(話す・書く)できる力を強化する。 (3) 一人1台端末の活用。</p>						<p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 与えられた長文について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 与えられた長文について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。</p>				4

<p>F 単元 Lesson 9</p> <p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 与えられた長文について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 与えられた長文について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが積極的にできる。</p>	<p>(1) 語彙・熟語力、文法力、情報を整理して要約する力、書き手や話し手の意図や内容の詳細を捉える力を強化する。 (2) 時事的な事柄や社会問題に関する知識を増やし、問題の論点を理解し、それに対して論理的に英語で自分の考えを表現(話す・書く)できる力を強化する。 (3) 一人1台端末の活用。</p>						<p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 与えられた長文について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 与えられた長文について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが積極的にできる。</p>				4
定期考査(中間)											1
<p>G 単元 Lesson 10・11</p> <p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 与えられた長文について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 与えられた長文について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。</p>	<p>(1) 語彙・熟語力、文法力、情報を整理して要約する力、書き手や話し手の意図や内容の詳細を捉える力を強化する。 (2) 時事的な事柄や社会問題に関する知識を増やし、問題の論点を理解し、それに対して論理的に英語で自分の考えを表現(話す・書く)できる力を強化する。 (3) 一人1台端末の活用。</p>						<p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 与えられた長文について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 与えられた長文について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。</p>				4

<p>H 単元 Lesson 12</p> <p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 与えられた長文について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 与えられた長文について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。</p>	<p>(1) 語彙・熟語力、文法力、情報を整理して要約する力、書き手や話し手の意図や内容の詳細を捉える力を強化する。 (2) 時事的な事柄や社会問題に関する知識を増やし、問題の論点を理解し、それに対して論理的に英語で自分の考えを表現(話す・書く)できる力を強化する。 (3) 一人1台端末の活用。</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 与えられた長文について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 与えられた長文について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>4</p>
<p>定期考査</p>				<p>○ ○</p>	<p>1</p>
<p>I 単元 Lesson 13</p> <p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 与えられた長文について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 与えられた長文について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。</p>	<p>(1) 語彙・熟語力、文法力、情報を整理して要約する力、書き手や話し手の意図や内容の詳細を捉える力を強化する。 (2) 時事的な事柄や社会問題に関する知識を増やし、問題の論点を理解し、それに対して論理的に英語で自分の考えを表現(話す・書く)できる力を強化する。 (3) 一人1台端末の活用。</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 与えられた長文について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 与えられた長文について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>6</p>

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 外国語 科目 英語演習基礎

教科： 外国語 科目： 英語演習基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： （ THE LEVELS 1 私大標準レベル 大学入試 英語長文問題集 ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を聞くこと，読むこと，話すこと，書くことにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 社会的な話題や日常的な話題について，目的や場面，状況などに応じて，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語演習基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会的・日常的话题について、読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる力を身に付ける。語彙や文法等、2学年次に学んだ知識・技能をさらに発展的に活用できる技能を身に付ける。	知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。	読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 「 や 」	話 「 発 」	書					
A 単元 Lesson 1・2 【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「土壌汚染」、「近代地図帳の父、アブラハム・オルテリウス」について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 「土壌汚染」、「近代地図帳の父、アブラハム・オルテリウス」について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。	(1) 語彙・熟語力、文法力、情報を整理して要約する力、書き手や話し手の意図や内容の詳細を捉える力を強化する。 (2) 時事的な事柄や社会問題に関する知識を増やし、問題の論点を理解し、それに対して論理的に英語で自分の考えを表現(話す・書く)できる力を強化する。 (3) 一人1台端末の活用。	○	○	○	○	○				4	

<p>D 単元 Lesson 6</p> <p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「ユーモアの心身に対する効果」について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 「ユーモアの心身に対する効果」について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。</p>	<p>(1) 語彙・熟語力、文法力、情報を整理して要約する力、書き手や話し手の意図や内容の詳細を捉える力を強化する。 (2) 時事的な事柄や社会問題に関する知識を増やし、問題の論点を理解し、それに対して論理的に英語で自分の考えを表現(話す・書く)できる力を強化する。 (3) 一人1台端末の活用。</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「大学生の外国語履修選択」、「ある少女の慈善活動の物語」について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 「大学生の外国語履修選択」、「ある少女の慈善活動の物語」について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>4</p>
<p>定期考査(期末)</p>				<p>○ ○</p>	<p>1</p>
<p>E 単元 Lesson 7・8</p> <p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「食用代替肉」、「砂不足」について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 「食用代替肉」、「砂不足」について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。</p>	<p>(1) 語彙・熟語力、文法力、情報を整理して要約する力、書き手や話し手の意図や内容の詳細を捉える力を強化する。 (2) 時事的な事柄や社会問題に関する知識を増やし、問題の論点を理解し、それに対して論理的に英語で自分の考えを表現(話す・書く)できる力を強化する。 (3) 一人1台端末の活用。</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「異文化間結婚」、「蓄電システム」について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 「異文化間結婚」、「蓄電システム」について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>4</p>

<p>F 単元 Lesson 9</p> <p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「シマウマが縞模様になった理由」について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 「シマウマが縞模様になった理由」について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが積極的に行える。</p>	<p>(1) 語彙・熟語力、文法力、情報を整理して要約する力、書き手や話し手の意図や内容の詳細を捉える力を強化する。 (2) 時事的な事柄や社会問題に関する知識を増やし、問題の論点を理解し、それに対して論理的に英語で自分の考えを表現(話す・書く)できる力を強化する。 (3) 一人1台端末の活用。</p>						<p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「ある羊飼いの生き方」、「インターンシップ」について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 「ある羊飼いの生き方」、「インターンシップ」について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが積極的に行える。</p>	○	○	○	4
<p>定期考査(中間)</p>								○	○		1
<p>G 単元 Lesson 10・11</p> <p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「世界のニュースを見る意義」、「動物の発声学習」について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 「世界のニュースを見る意義」、「動物の発声学習」について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。</p>	<p>(1) 語彙・熟語力、文法力、情報を整理して要約する力、書き手や話し手の意図や内容の詳細を捉える力を強化する。 (2) 時事的な事柄や社会問題に関する知識を増やし、問題の論点を理解し、それに対して論理的に英語で自分の考えを表現(話す・書く)できる力を強化する。 (3) 一人1台端末の活用。</p>						<p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「昆虫のフェロモン」、「生物多様性」について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 「昆虫のフェロモン」、「生物多様性」について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。</p>	○	○	○	4

<p>H 単元 Lesson 12</p> <p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「人間の精神」について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 「人間の精神」について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。</p>	<p>(1) 語彙・熟語力、文法力、情報を整理して要約する力、書き手や話し手の意図や内容の詳細を捉える力を強化する。 (2) 時事的な事柄や社会問題に関する知識を増やし、問題の論点を理解し、それに対して論理的に英語で自分の考えを表現(話す・書く)できる力を強化する。 (3) 一人1台端末の活用。</p>	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「空間領域」、「消費者行動」について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 「空間領域」、「消費者行動」について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。</p>	○	○	○	4
<p>定期考査</p>							○	○		1
<p>I 単元 Lesson 13</p> <p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「古代オリンピック」について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 「古代オリンピック」について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。</p>	<p>(1) 語彙・熟語力、文法力、情報を整理して要約する力、書き手や話し手の意図や内容の詳細を捉える力を強化する。 (2) 時事的な事柄や社会問題に関する知識を増やし、問題の論点を理解し、それに対して論理的に英語で自分の考えを表現(話す・書く)できる力を強化する。 (3) 一人1台端末の活用。</p>	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】 読んだり聞いたりする中でさまざまな語句や構文を理解し、話の展開や意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「愛情の必要性」、「修道女の精神と身体」について、知識・技能を活用し(多様な語句や文を適切に用いて)情報、考えや気持ち、課題解決策等について、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に、詳しく伝え合うやり取りや発表をしたり、複数の段落から成る文章で書いたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 「愛情の必要性」、「修道女の精神と身体」について読み取ったり、聞き取ったりした内容について、情報、考えや気持ち、課題解決策等について質疑応答をしたり、自分の立場を明らかにする理由や根拠とともに論理的に意見や感想を伝え合ったり、書いたりすることが主体的・自律的にできる。</p>	○	○	○	6

高等学校 令和8年度（3学年用）教科 家庭 科目 保育基礎

教科：家庭 科目：保育基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 組～組

使用教科書：（家庭706 保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ（教育図書））

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 保育基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特長、生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
子どもにかかわる職業を知ろう！ 【知識及び技能】 さまざまな職業が子どもや保育に直接的・間接的にかかわっており、子どもの健やかな発達に寄与していることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の将来における子どもへのかかわりについて、職業や、かかわる内容などを具体的に考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもにかかわる職業について関心を持ち、自身が希望する職業に就くために必要なことを調べ、情報を収集・整理できる。	子どもにかかわる職業を知ろう！ ・子どもにかかわる職業にはどのようなものがあるか、また、その意義を知る。 ・自分が将来どのような形で子どもにかかわりたいか考える。 ・教材 ワークシート	【知識・技能】 さまざまな職業が子どもや保育に直接的・間接的にかかわっており、子どもの健やかな発達に寄与していることを理解している。 【思考・判断・表現】 自分の将来における子どもへのかかわりについて、職業や、かかわる内容などを具体的に考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもにかかわる職業について関心を持ち、自身が希望する職業に就くために必要なことを調べるなど、情報を収集・整理しようとしている。	○	○	○	2
1章 子どもの保育 【知識及び技能】 ・子どもの人格形成における保育の重要性を理解している。 ・保育における保護者や保育者の役割を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもの保育の特徴や、保育者に求められる姿勢などについて要点をまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・保育の意義について、自分自身が親や保育者になることを考えるなど、自分の人生観と結びつけて考えようという姿勢が見られる。	・指導事項 1章 子どもの保育 ① 保育の意義 1 保育とは何か 2 育ての心 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・子どもの人格形成における保育の重要性を理解している。 ・保育における保護者や保育者の役割を理解している。 【思考・判断・表現】 ・子どもの保育の特徴や、保育者に求められる姿勢などについて要点をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・保育の意義について、自分自身が親や保育者になることを考えるなど、自分の人生観と結びつけて考えようという姿勢が見られる。	○	○	○	2
② 保育の環境 【知識及び技能】 ・家庭での養育と集団保育の役割を理解している。 ・家庭での子育ての現状と課題、国の子育て支援の内容などについて理解している。 ・保育所や幼稚園、認定こども園における保育・教育の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現在の子育て家庭が集団保育に求めていることについて、子育て環境の変化などと関連させながら具体的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な保育・教育施設について関心を持ち、ホームページからその特色を調べるなど自ら情報を収集しようとしている。	・指導事項 ② 保育の環境 1 子どもが育つ環境 2 家庭での養育 3 さまざまな保育の場 4 保育ニーズの高まりと課題 5 集団保育の重要性 ・教材 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・家庭での養育と集団保育の役割を理解している。 ・家庭での子育ての現状と課題、国の子育て支援の内容などについて理解している。 ・保育所や幼稚園、認定こども園における保育・教育の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 ・現在の子育て家庭が集団保育に求めていることについて、子育て環境の変化などと関連させながら具体的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な保育・教育施設について関心を持ち、ホームページからその特色を調べるなど自ら情報を収集しようとしている。	○	○	○	4
章末 保育の課題に取り組もう！ ① 【思考力、判断力、表現力等】 ・家庭での養育の課題を考察しながら、子どもの心身の安定を図るために、保育者としての月齢・年齢に応じた適切なかかわり方を具体的に考え、意見をまとめた発表を行うことができる。	・指導事項 章末 保育の課題に取り組もう！ ① 子どもの気持ちに寄り添う保育者とは？ グループ発表 ・教材 レポート	【思考・判断・表現】 ・家庭での養育の課題を考察しながら、子どもの心身の安定を図るために、保育者としての月齢・年齢に応じた適切なかかわり方を具体的に考え、意見をまとめた発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自身が保育者になることを想像しながら、子どもの発達や保育に関心を持ち、積極的に参加しようとしている。		○	○	4
2章 子どもの発達 ① 子どもの発達の特長 【知識及び技能】 ・子どもの発達の共通性・個性について理解している。 ・子どもの発達は、身体の発達とともに心身の発達も進んでいくことを理解している。	②章 子どもの発達 ① 子ども発達の特性 1 発達とは何か 2 乳幼児期の大切さ 3 発達の共通性 4 発達の個性	【知識・技能】 ・子どもの発達の共通性・個性について理解している。 ・子どもの発達は、身体の発達と心や身体の機能の発達が相互に関連してなされていくことを理解している。	○	○		3

丁 期	章末 保育の課題に取り組もう！ ⑤ 保育の学習をふり返ろう 【思考力、判断力、表現力等】 ・月齢・年齢ごとの子どもの遊びの特徴を理解した上で、心身の発達を促すために、適切な遊びを企画し、発表することができる。	章末 保育の課題に取り組もう！ ⑤ 保育の学習をふり返ろう ・教材 グループ発表 レポート ・一人1台端末の活用 等	【思考・判断・表現】 ・月齢・年齢ごとの子どもの遊びの特徴を理解した上で、心身の発達を促すために、適切な遊びを企画し、発表することができる。 ・これまで学習してきた内容を振り返り、保育にかかわる内容をまとめることができる。 ・子どもや保育について、学習前後の自身の考えの変化などをまとめることができる。	○	○	○	2
							70

